



「五ヶ瀬中学校校歌より」

学 び 舎

五ヶ瀬中学校校長室だより
令和 元年 6月 21日
No. 3
文責：校長 戸 敷 二 郎

令和元年度・西臼杵地区中学校総合体育大会結果です

令和の年号になって初めて、また、第70回となる節目の中体連総合大会が6月8日（土）から翌日9日（日）にかけて開催されました。3年生にとっては最後の中体連大会となる「勝負の時」でしたが、どの部活動も健闘してくれました。県大会出場を逃した競技も「あと一步！」のところまでギリギリの闘いを展開してくれました。そんな中、野球部が三ヶ所中時代の平成15年度以来16年ぶりの地区優勝を果たし、7月の県大会に地区代表として駒を進めました。少ない人数ながら接戦を勝ち抜き、同じく県大会に出場する剣道部共々、地区代表としての活躍を期待しています！



剣道・男子団体 準優勝（県大会出場）

五ヶ瀬中 0-2 上野中
五ヶ瀬中 2-2 五ヶ瀬中等

軟式野球 優勝（県大会出場）

1回戦 五ヶ瀬中 5-3 日之影中
決勝戦 五ヶ瀬中 8-1 高千穂中（5回コールド）

剣道・女子団体 準優勝（県大会出場）

五ヶ瀬中 5-0 五ヶ瀬中等
五ヶ瀬中 4-1 上野中
五ヶ瀬中 1-2 高千穂中

バレーボール・女子 準優勝

五ヶ瀬中 2 (25-16) 0 田原中
五ヶ瀬中 0 (22-25) 2 日之影中
五ヶ瀬中 0 (24-26) 2 高千穂中
11-25

剣道・男女個人（県大会出場のみ表記）

藤川 劉之丞（男子個人4位）
甲斐 鈴乃（女子個人4位）
落合 柊那（女子個人6位）

ソフトテニス団体 …… 個人

五ヶ瀬中 3-0 五ヶ瀬中等 (甲斐 南沙)
五ヶ瀬中 1-2 上野中 (甲斐 さくら)ペア
五ヶ瀬中 0-3 高千穂中 ベスト8
五ヶ瀬中 0-3 日之影中

バレーボール・男子

五ヶ瀬中 0 (21-25) 2 高千穂中
五ヶ瀬中 0 (20-25)
五ヶ瀬中 0 (16-25) 2 日之影中
15-25

修学旅行での「観光特使任命式」が行われました

来週6月26日（水）～28日（金）の日程で本年度の2年生修学旅行が行われます。例年通り初日の



の午後に東京都板橋区の『ハッピーロード大山商店街』での五ヶ瀬町PR活動を特使としての活動の場と位置付け、原田町長より任命状が渡されました。

小学6年でコマうちした椎茸や先月の茶摘み体験で収穫した新茶に加えて、協力をいただいている特産センターの銘品などを販売しながら、五ヶ瀬町のPRをするという五ヶ瀬教育ビジョンの中でも大きな取組となります。これまでの準備期間にPR活動のリハーサルを繰り返したり、現地で披露する伝統芸能（団七踊り、棒術・長刀）の練習も地域の方々の熱心なご指導を受けながら積み重ねてきています。



毎年、関東五ヶ瀬会（菊池修会長）の皆さまにも会場でのご声援をいただき、観光特使としての役目を少しでも果たせるように頑張っています。今回は県の東京事務所からも視察がお見えになるそうです。元気に、これまでの練習の成果を存分に発揮してきてほしいと思います。

「五感（性）」が育つ「五ヶ瀬」

～駄洒落（だじゃれ）ではなく、本当に素晴らしい五ヶ瀬です～

「五感（性）」。辞書で調べてみますと「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」とあります。五ヶ瀬に赴任した当初「五ヶ瀬には五つの季節があります。」と紹介されました。四季と人の温かさを合わせて「五つの季節」と表現されているようです。まさに納得。ガッテンです。

話はガラッと変わりますが、15年ほど前、教頭として務めていた頃、九州PTA福岡大会に役員さんと参加した時に初めてカーナビを使った運転をしました。



音声ガイドの通り走れば目的地に到着する素晴らしさを初体感しました。ところが宿泊先に向かう途中でナビが案内できなくなり、結局、最後の2kmぐらいは皆で尋ね尋ねの人力でたどり着きました。私がショックを受けたのは翌朝のことです。昨日と同じ会場に向かう中、宿からナビが案内できるエリアまでの約2kmは同乗者の全員が看板や建物などの目印で「次を右」「次を左」と覚えていたのですが、ナビが案内できるエリアに入った途端に「え～？昨日こんな所通ったっけ？」と誰も覚えていないのです。運転していた私ですら同じ感想でした。はっきり言ってゾッとしました。

運転していた私ですら「音声ガイド」だけに注意を払い、風景や建物・看板などの目印などには無関心でいたのです。「ナビを使っているのは頭がダメになる！！」と強く思いました。以来、我が家の車にはナビをつけない方針を（家訓として？）打ち出し、現在に至っています。



数年前、教え子の結婚式に「目と口と耳があれば大丈夫！」と地図帳片手に北九州に向かったのですが、案の定、帰り道で迷ってしまいました。自分では博多方面に向かっているつもりが宗像あたりを走っていたようです。持ってきた地図を見たり、G.S.で聞いたり、コンビニで聞いたりして修正しました。コンビニでは降り出した雨の中、若いアルバイト風の女の子が駐車場まで出て、福岡弁で指さしながら教えてくれました。教わったことと地図、案内看板を確認しながら、時には地形やわずかに見える太陽の位置など、頭の中をフル回転させながら太宰府にたどり着きました。そこから先は走り慣れた高速道路を使ったのですが、帰りながら、道案内してくれた人たちの温かさやお国言葉、必死で確認した風景の数々などが思い出され、何となく心がジ～ンと温まりました。「可愛い子には旅をさせろ」という言葉は、こんな触れ合いも意味しているのかな？などとも思いました。ナビに頼っていたらこんな失敗も出会いもなく、淡々と過ぎていったのかもしれない。

取り返しのつく失敗をたくさん経験させて育てなさい

このタイトルは前号（第2号）でも使いましたが、今回も同じタイトルを使います。



今年、2年生の修学旅行中の3年生は去年までの『服掛松キャンプ場での飯盒炊爨体験』を大幅に変更して『学校での避難所炊き出し体験（仮称）』に切り替えました。前号でもお伝えしましたが、いずれ五ヶ瀬を離れて生活する機会が多く生徒に想定されます。出くわした災害の程度にもよりますが、最悪のケースを考えると「公助」を受けられるまでの数日間は自分たちで「自助」「共助」しながら生き延びなくてはならないことも考えられます。それこそ五感をフルに使って、使えるものに創意工夫を加えながら、皆で協働して過ごす時間です。

今回の体験は衣・食・住の「食」に絞って、普段何気なく見ているものも、知恵や工夫で役に立つことや家庭での手伝いの体験が生かされることなど、教室での学習では得られない学びを期待しています。当然、初めてのことで全とうまくいくとは限りません。これまでの体験と五感を総動員して活動に取り組んでほしいと願っています。失敗して少々ひもじい思いもさせるかもしれませんが、この体験が必ず次の体験に役立ち、子供たちをたくましく育てる一助になると思います。個人的には第六感（ひらめき、インスピレーション）なども大事ではないかとも考えています。

五感、「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」に加え、豊かな体験活動を積み重ねてきた生徒達には、「経験」と「知恵」もたくさん蓄積されており、加えて自然豊かなこの五ヶ瀬の地の恵みを活用して取組の目的を達してくれるものと信じています。都会暮らしではなかなか難しいチャレンジも、この五ヶ瀬では楽々と達成できることや先人達の知恵の素晴らしさに気付き、今まで以上にこのふるさと五ヶ瀬を好きになってくれることも密かに期待しています！